

# 令和7年度 学校評価アンケート(自己評価)

○評価種別

達成度評価: 生徒や保護者・地域住民などへの目標の達成の程度

取組度評価: 目標に対する教職員の取組の程度

○評価区別

A: 十分である(4点)

B: おおむね十分である(3点)

C: やや不十分である(2点)

D: 不十分である(1点)

E: わからない(平均集計外)

評価分野	評価項目	達成度評価					取組度評価					達成度		取組度	
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	評価	平均	評価	平均
経営方針	1 組織の活力を高め、マネジメントサイクルを活用して常に「改善」を指向する体制の確立に努める。	6	21	9	0	1	2	27	4	4	0	B	2.9	B	2.7
	2 組織的・計画的・実践的な校内研修の充実を図り、教職員の教科指導力の向上に努める。	8	23	5	0	0	5	28	4	0	0	B	3.1	B	3.0
	3 保護者、地域、関係機関との連携、協力を深め、魅力ある学校づくりに努める。	9	25	3	0	0	10	23	3	1	0	B	3.2	B	3.1
	4 諸業務の改善による効率的・合理的な業務システムと、危機管理システムの構築に努める。	7	20	7	2	1	2	24	7	4	0	B	2.9	B	2.6
学習指導	5 課題や補習等を活用した反復学習や家庭学習により、学習習慣の確立を図る。	2	25	6	1	0	4	26	6	0	1	B	2.8	B	2.9
	6 興味・関心が高まるわかりやすい授業のための指導法や教材を研究し、生徒の学習意欲を喚起する。	2	26	6	0	0	10	23	3	0	1	B	2.9	B	3.2
	7 TTや習熟度別指導等を活用した個に応じた教科指導を工夫する。	7	19	8	0	0	12	17	6	1	1	B	3.0	B	3.1
生徒指導	8 全ての生徒に言語活動の充実等、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせ、確かな学力を定着させる。	1	24	9	0	0	5	25	5	1	1	B	2.8	B	2.9
	9 身だしなみ、礼法、言葉遣い等、基本的な生活習慣を身に付けさせ、主体的に考え行動できる生徒の育成に努める。	5	21	9	0	0	8	26	3	0	0	B	2.9	B	3.1
	10 校内研修を活用し、一貫性のある、全職員の共通理解による、組織的できめ細かな生活指導に努める。	2	23	9	0	1	7	22	8	0	0	B	2.8	B	3.0
	11 共感的な生徒理解を基盤に、スクールカウンセラーとの連携による教育相談の充実を図る。	8	21	7	0	0	7	24	5	0	1	B	3.0	B	3.1
	12 特別支援学校との連携や校内研修の充実による特別支援教育の体制を確立する。	4	19	10	1	1	4	18	12	1	2	B	2.8	B	2.7
進路指導	13 部活動や生徒会行事を通し、生徒の自主的な行動や失敗を恐れない積極性を促し自立心を育成する。	11	20	3	2	0	12	20	5	0	0	B	3.1	B	3.2
	14 ACTを中核とした体系的なキャリア教育を充実し、3年間の進路STORYの展開に努める。	9	22	3	0	1	7	26	4	0	0	B	3.2	B	3.1
	15 情報の収集や提供を積極的に行い、生徒一人一人の能力・適性に応じた進路指導に努める。	8	21	5	0	1	8	27	2	0	0	B	3.1	B	3.2
	16 保護者への分かりやすい進路情報の提供と進路相談の充実を図る。	5	20	9	0	1	4	27	6	0	0	B	2.9	B	2.9
健康安全指導	17 地域・保護者・関係諸機関との有機的な連携を図り、地域の人材や教育力を活用して進路意識の醸成に努める。	9	20	5	1	0	12	23	2	0	0	B	3.1	B	3.3
	18 講演会等を活用し、自他の生命を尊重して自主的に健康管理と安全確保ができる能力と態度を育てる。	5	25	4	1	0	5	28	4	0	0	B	3.0	B	3.0
	19 JRC活動等により、奉仕・美化・環境保全の取組を通して社会に貢献する態度を育てる。	3	24	7	1	0	4	31	2	0	0	B	2.8	B	3.1
	20 体育的な行事・部活動の活性化を図り、体力と耐性の向上に努める。	8	24	3	0	0	10	24	3	0	0	B	3.1	B	3.2
授業改善	21 防災訓練の充実により、防災に対する意識の高揚と安全確保ができる能力の育成に努める。	3	27	5	1	0	4	29	2	2	0	B	2.9	B	2.9
	22 シラバスを学習の指針、年間計画、評価についての説明などで活用している。	4	20	8	2	0						B	2.8		
	23 授業はシラバスの計画のとおり進んでいる。	0	26	6	1	1						B	2.8		
	24 「生徒による授業評価」の活用をし、授業改善に努めている。	3	22	6	3	0						B	2.7		
組織運営	25 言語活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力及びその他の能力を育成する授業を行っている。	10	18	6	0	0						B	3.1		
	26 業務に関する指示や報告・連絡・相談が適切になされている。	5	20	10	3	0						B	2.7		
研修	27 職員会議や各種委員会は効率的に運営されている。	4	23	8	3	0						B	2.7		
	28 校内研修の実施方法・形態・時期等が適切で、教育活動に活かしている。	6	24	6	0	0						B	3.0		
いじめに対する取組	29 資質能力向上のための自己啓発のための研修に取り組んでいる。	4	24	7	0	1						B	2.9		
	30 いじめ防止に向けて生徒への指導をしている。	10	21	4	0	0						B	3.2		
	31 いじめ早期発見のために生徒の様子を日常的にチェックしている。	13	20	2	0	0						B	3.3		
	32 いじめの問題に対して、学校全体で対応する体制が整っている。	9	24	2	0	0						B	3.2		
連携	33 地域、保護者とともにいじめの根絶に向けた対策をとっている。	5	20	7	2	1						B	2.8		
	34 学校は家庭や地域に「桂陽だより」、HPなどで十分な情報提供を行っている。	12	22	3	0	0						B	3.2		
施設設備	35 家庭や地域の要望や意見を収集し、教育活動に生かしている。	4	21	10	0	1						B	2.8		
	36 施設設備の維持管理が適切に行われている。	2	22	7	7	0						C	2.5		
危機管理	37 設備や教材等の物品の整備と補充が適切に行われている。	2	19	9	8	0						C	2.4		
	38 個人情報の保護について十分に留意している。	16	20	1	1	0						B	3.3		
	39 避難訓練や防災教育は災害や事故に対応するために適切に行われている。	11	22	5	0	0						B	3.2		
	40 金銭の管理は適切に行われている。	14	20	3	1	0						B	3.2		
	41 職員の事故防止の取組は充分なされている。	6	26	1	3	2						B	3.0		

評価・・・A 4.0～3.6、B 3.5～2.6、C 2.5～1.6、D 1.5～1.0